

祝

財務諸表論 科目合格

H・I さん（男性・40歳代）

■ 受験歴

年	受験科目	所属	勉強スタイル
H14	簿記論・財務諸表論（不合格 A判定）	会計事務所勤務	専門学校(T)
H15	簿記論・財務諸表論（不合格 A判定）		専門学校(O)
H16	簿記論（不合格 B判定）		
	財務諸表論（不合格 A判定）		
H17	財務諸表論（不合格 A判定）	独学	
H19	簿記論（不合格 B判定）	受験専念	専門学校(O)
	財務諸表論（不合格 A判定）		
H21	財務諸表論（不合格 B判定）	一般企業勤務 (経理職)	独学
H22	簿記論（不合格 A判定）		
	財務諸表論（不合格 C判定）		
H23	簿記論（不合格 A判定）		
	財務諸表論（不合格 B判定）		
H24	簿記論（不合格 B判定）		
	財務諸表論（不合格 A判定）		
H25	簿記論（不合格 B判定）		
	財務諸表論 合格!		

独学を始めた平成 21 年の受験から会計人コースを購読し、2 年前から年間購読。現在、会計人コースなどを使用して簿記論の勉強中。

Q1 『会計人コース』をどのように使っていましたか？

◇問題集として

財務諸表論の理論は、各論点のキーワードを押さえるように心がけていました。昨年、『会計人コース』に掲載された早谷先生のチェックリスト（2012.12, 2013.4, 7月号）を基に、**自分で解答を作成し、それを本試験会場でも見ていました。**

その他にも、長島先生の連載「解答力が上がる財表理論 実戦トレ教室」（2013.3~8月号）で、間違った箇所は、『会計法規集』（中央経済社）を確認して、マークをしていました。これが、**本試験の空欄補充問題の制覇につながった**と思います。また、並木先生の記事も、とてもタイムリーで参考になりました。

さらに、昨年は、本誌ホームページから解答用紙をダウンロードし、B5で印刷して『会計人コース』に挟んで使用していました。「ハイパー・トレーニング」の簿・財、過去問や“でる論点”が取り上げられている特集記事は解いていました。

特に、毎年刊行される7月臨時増刊号『理論問題 でのる順予想号』は、目を通していました。第63回税理士試験「財務諸表論」第二問の的中は**すばらしかった**です。本当にやっていてよかったと思いました。

◇モチベーション維持について

毎月毎月、その時季に合った記事が取り上げられ、税理士の仕事を紹介する記事も大変役に立ちました。連載コラム「私の独立開業日誌」は、毎月、最初に読む記事です。非常に参考になり、**モチベーション維持にも役立つ**記事だと思います。

Q2 「もっとこうしておけばよかった」と思う勉強方法がありますか？

昨年の簿記論では、伝統的な論点の帳簿組織と新会計基準の減損会計が出題されました。こうした傾向は来年も続くと思うので、簿記論の個別論点をもう少し時間をかけて勉強しておくべきでした。「出ない所はしない」のではなく、「**出題範囲だから勉強する**」ということだと思います。

Q3 合格の勝因は何だと思いますか？

「**丁寧に答案作成をすること**」だと思います。誤字・脱字やまぎらわしい数字にならないように気をつけていました。この点は、答案作成について学者にアンケートをした記事（2013年1月臨時増刊号コラム「気になる採点のギモンを解決」）にもヒントがあり、本当に参考になりました。

最終的には、「**あきらめない**」という気持ちが不可欠です。

Q4 勉強で工夫していたことはありますか？

財務諸表論の理論は、ある論点に対してのキーワードを押さえるように勉強していました。昨年の会計人コースでは、特に早谷先生のチェックリストを基に自分でワードの解答を作成し、それを印刷して本試験会場に持って行き、活用していました。その他、長島先生の「実戦トレ教室」で間違えた所は、**会計法規集を見てマークをしていました。**

Q5 振り返って「これはうまくいった」と思う勉強方法がありますか？

試験1週間前から、直近4年分の過去問を、とくに計算問題を中心に解きました。勉強方法として、試験傾向がわかったことと、どこが足りないかを確認できたことがよかったです。市販の問題集に比べ、**直近の過去問を取り上げている『会計人コース』を中心に勉強していました。**

それ以外にも、専門学校での模試で間違えた所を、ピンポイントで**テキストなどを使って復習**していました。